

第5章

「家族」をもつこと

この章では「三重県子ども条例に基づく調査」をもとに、高校生の結婚観や子どもを持つこと、男性の育児参画についての意識、県民の理想の家族の住まい方についてみます。

将来結婚したい、子どもがほしいと思う高校生は約8割と大半を占めますが、結婚したいと思わない高校生、子どもがほしいと思わない高校生はやや増加しています。

小学生時代に赤ちゃんとふれあったり、小さい子どもと遊んだ経験がある高校生は、遊んだ経験がない高校生より結婚したい、子どもがほしいと思う割合が高くなっています。

また、家の人に悩みや学校などでの出来事を話している高校生は、話をしていない高校生より結婚したい、子どもがほしいと思う割合が高くなっています。結婚や子どもを持つことについては、個人の考え方や価値観を尊重することが大前提となりますが、若者が結婚や子どもを持つことについて関心を持てるよう、子どものころから親子のコミュニケーションや、赤ちゃんや小さい子どもとのふれあい体験など家庭教育やライフプラン教育を充実させていくことが重要と考えられます。

男性が育児をすることについて、「男性も女性と育児を分担して、積極的に参加すべき」と答える高校生の割合は約6割となっており、性別に関わらず育児に参加すべきと考える意識が高くなっています。

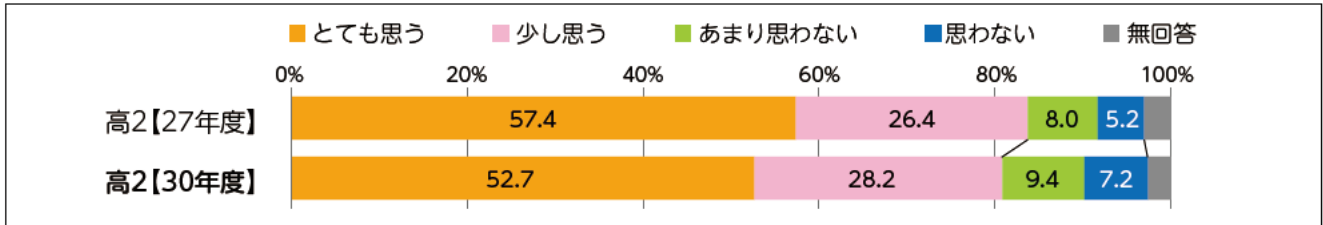
理想の家族の住まい方については、「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が最も高く、特に30歳代でその割合が高くなっています。

1 結婚観

● 将来、結婚したいと思う高校生は約8割。小学生時代に赤ちゃんや小さい子どもとふれあった経験がある高校生は、経験がない高校生より結婚したいと思う割合が高い。

将来、結婚したいと思うかについて、「とても思う」「少し思う」と答えた高校生は80.9%となっています。平成27年度と比較すると「思わない」「あまり思わない」の割合がやや高くなっています。

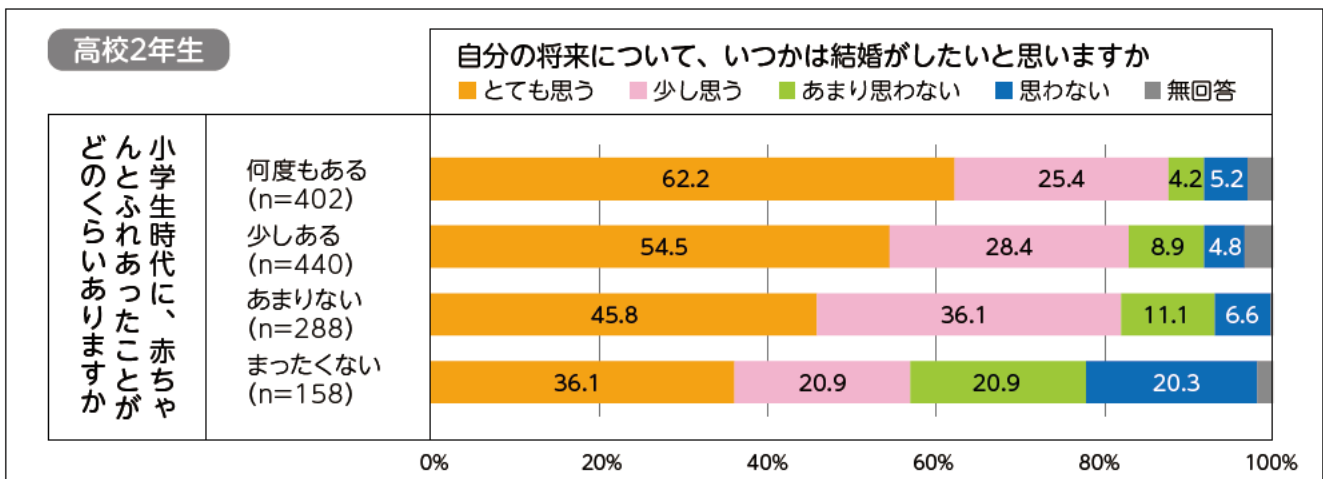
■ 図 5-1 あなたは、自分の将来について、いつかは結婚がしたいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係について、赤ちゃんとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が30.6ポイント高くなっています。

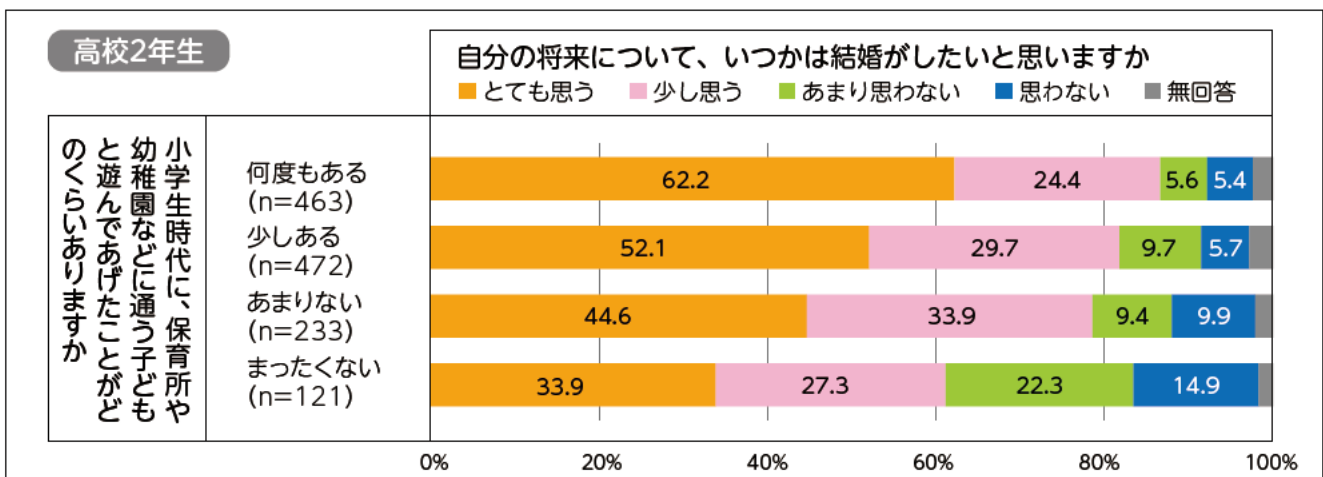
■ 図 5-2 「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係について、小さい子どもとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が25.4ポイント高くなっています。

■ 図 5-3 「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、結婚したいと思う」の関係



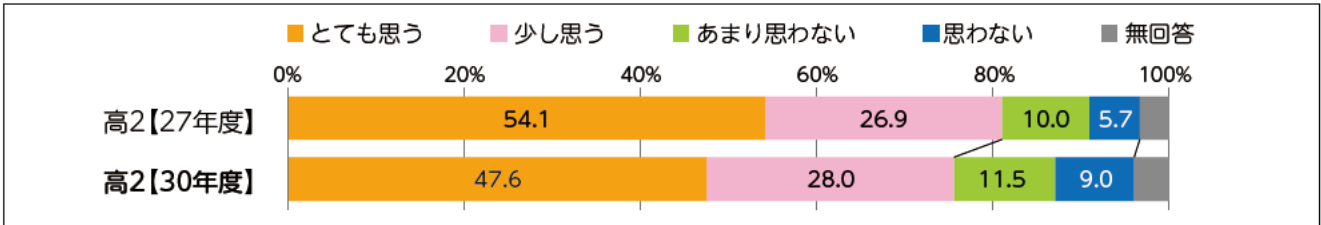
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

2 子どもを持つこと

● 将来、子どもを持ちたいと思う高校生は約8割。小学生時代に赤ちゃんや小さい子どもとふれあつた経験がある子どもは、経験がない子どもより子どもを持ちたいと思う割合が高い。

将来、子どもをほしいと思うかについて、「とても思う」「少し思う」と答えた高校生は75.6%となっています。平成27年度と比較すると「思わない」「あまり思わない」の割合がやや高くなっています。

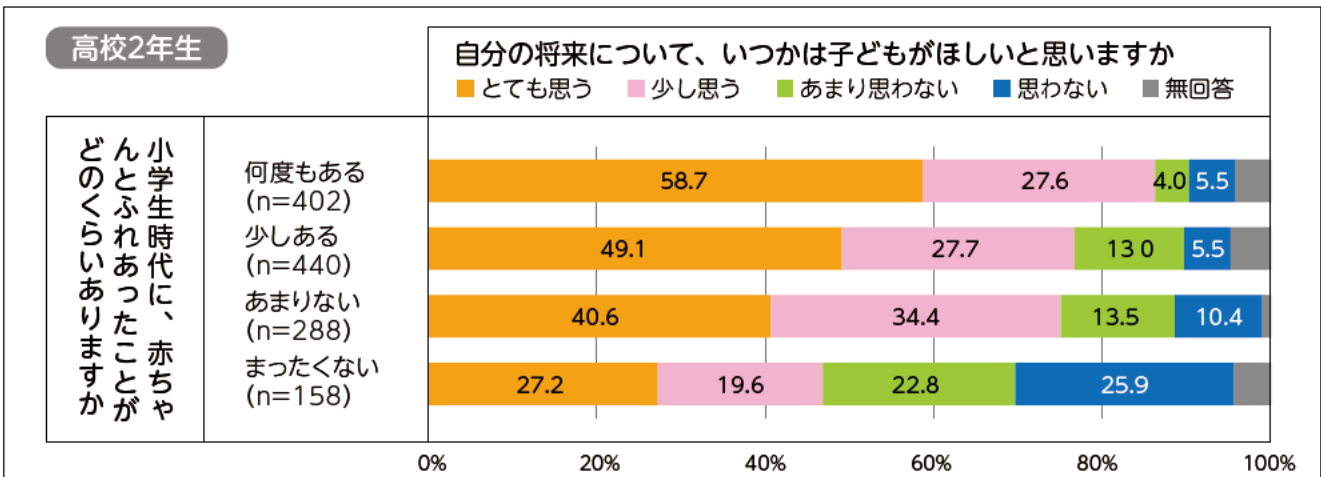
■ 図 5-4 あなたは、自分の将来について、いつかは子どもがほしいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係について、赤ちゃんとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が39.5ポイント高くなっています。

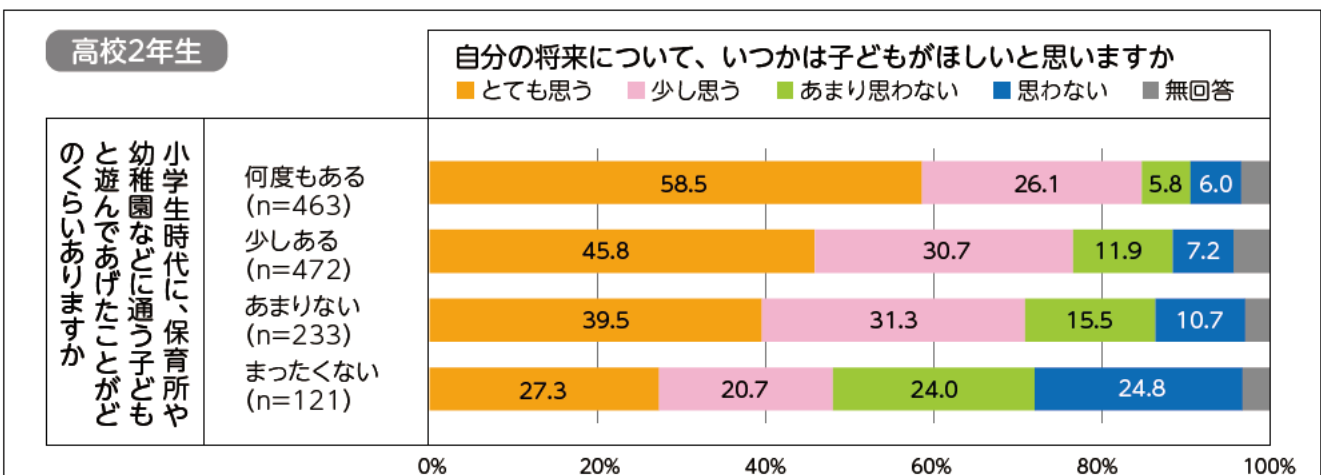
■ 図 5-5 「小学生時代の赤ちゃんとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係について、小さい子どもとのふれあいが「何度もある」と答えた高校生は、「まったくない」と答えた高校生より「とても思う」「少し思う」の割合が36.6ポイント高くなっています。

■ 図 5-6 「小学生時代の小さい子どもとのふれあい」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

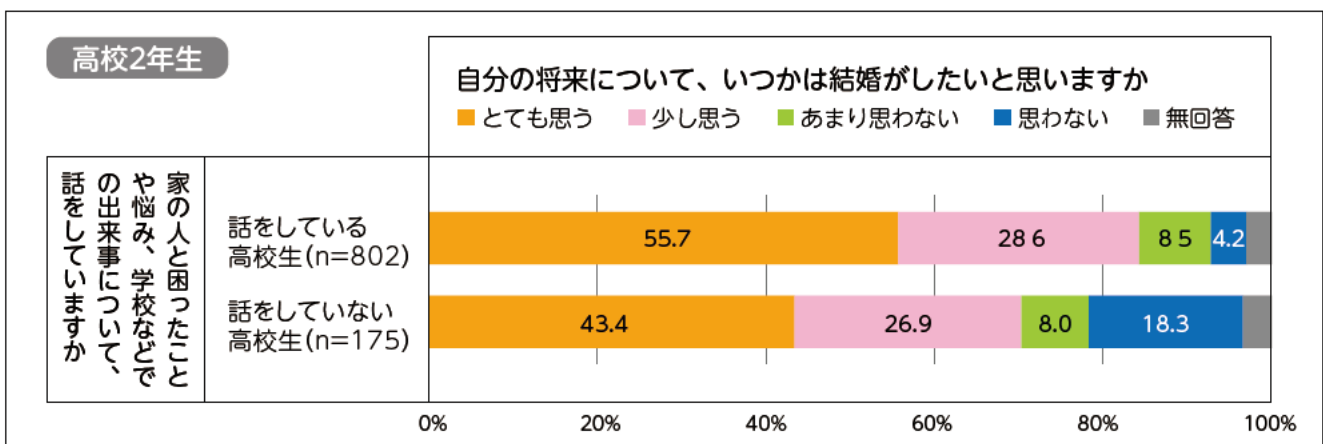
●家の人に悩みや学校などでの出来事を話している高校生は、話をしていない高校生より、いつかは結婚がしたい、いつかは子どもがほしいと思う割合が高い。

家の人に悩みや学校などでの出来事を話している高校生は、話をしていない高校生より、自分の将来について、いつかは結婚がしたいと「とても思う」「少し思う」と回答する割合が高く、同様にいつかは子どもがほしいと「とても思う」「少し思う」と回答する割合も高くなっています。

話をしていない高校生は、約2割が結婚がしたい、子どもがほしいと「思わない」と回答しています。

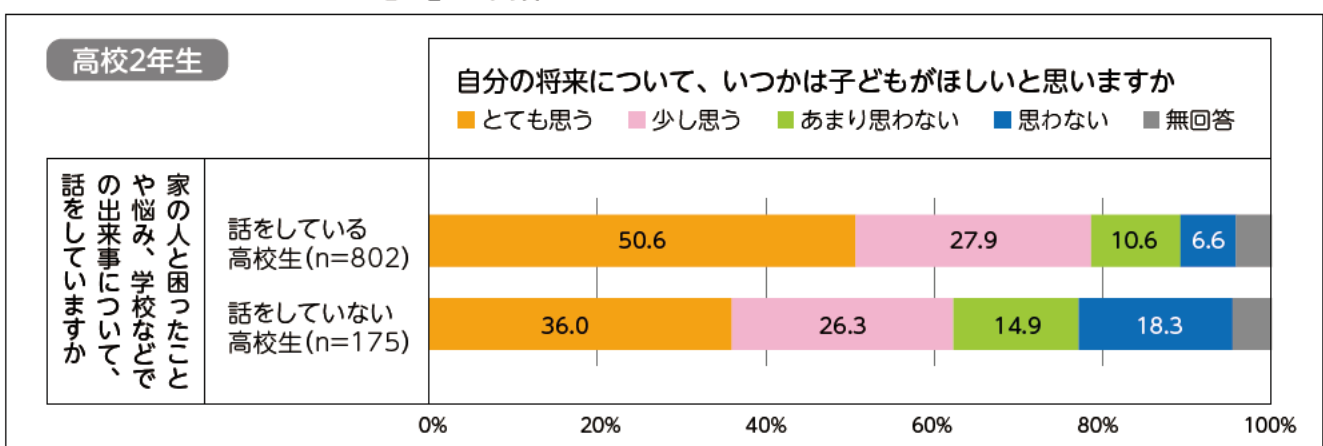
以下の図では、高校生に対する設問「あなたは、家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校などでの出来事について話をしていますか。」と「あなたは、困ったことや悩みがあったとき、家の人（兄弟姉妹は含みません。）に話をしていますか。」の2問について、2問とも「している」または「どちらかといえば、している」を選択した高校生を『話をしている高校生』、2問とも「どちらかといえば、していない」または「していない」を選択した高校生を『話をしていない高校生』としています。

■ 図 5-7 「家の人と困ったことや悩み、学校などでの出来事について話をしている」と「将来、結婚したいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査 子ども調査」

■ 図 5-8 「家の人と困ったことや悩み、学校などでの出来事について話をしている」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査 子ども調査」

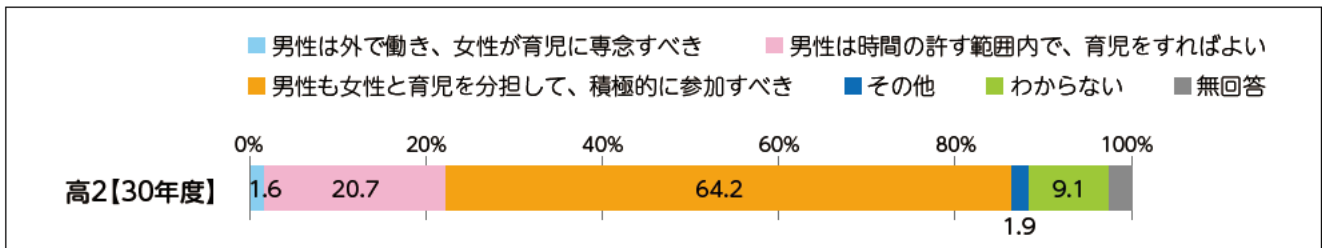
3 男性の育児参画

●男性が育児をすることについて、「男性も女性と育児を分担して、積極的に参加すべき」が約6割。

男性が育児をすることについて、高校生は「男性も女性と育児を分担して、積極的に参加すべき」が64.2%と最も高く、次いで「男性は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」が20.7%、「わからない」が9.1%となっています。

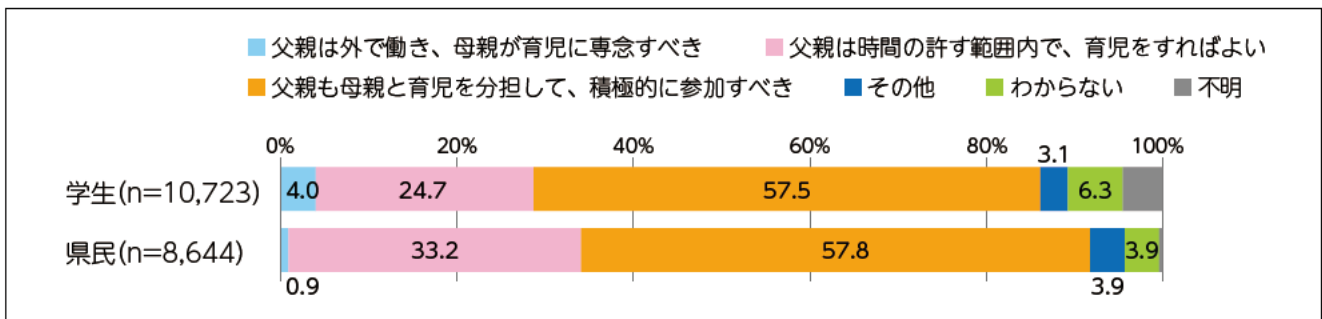
県内14の高等教育機関に在籍する学生では、「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」と答えた割合が57.5%と最も高く、次いで「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」が24.7%となっています。同様に、18歳から39歳の県民では、父親が育児をすることについて「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」と答えた割合が57.8%と最も高く、次いで「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」が33.2%となっています。

■ 図 5-9 男性が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 5-10 父親が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか



資料：三重県「結婚・出産・子育て、仕事に関するアンケート（平成29年度）」
三重県「結婚や妊娠・出産、子育てに関する県民意識調査（平成29年度）」

4 理想の家族の住まい方

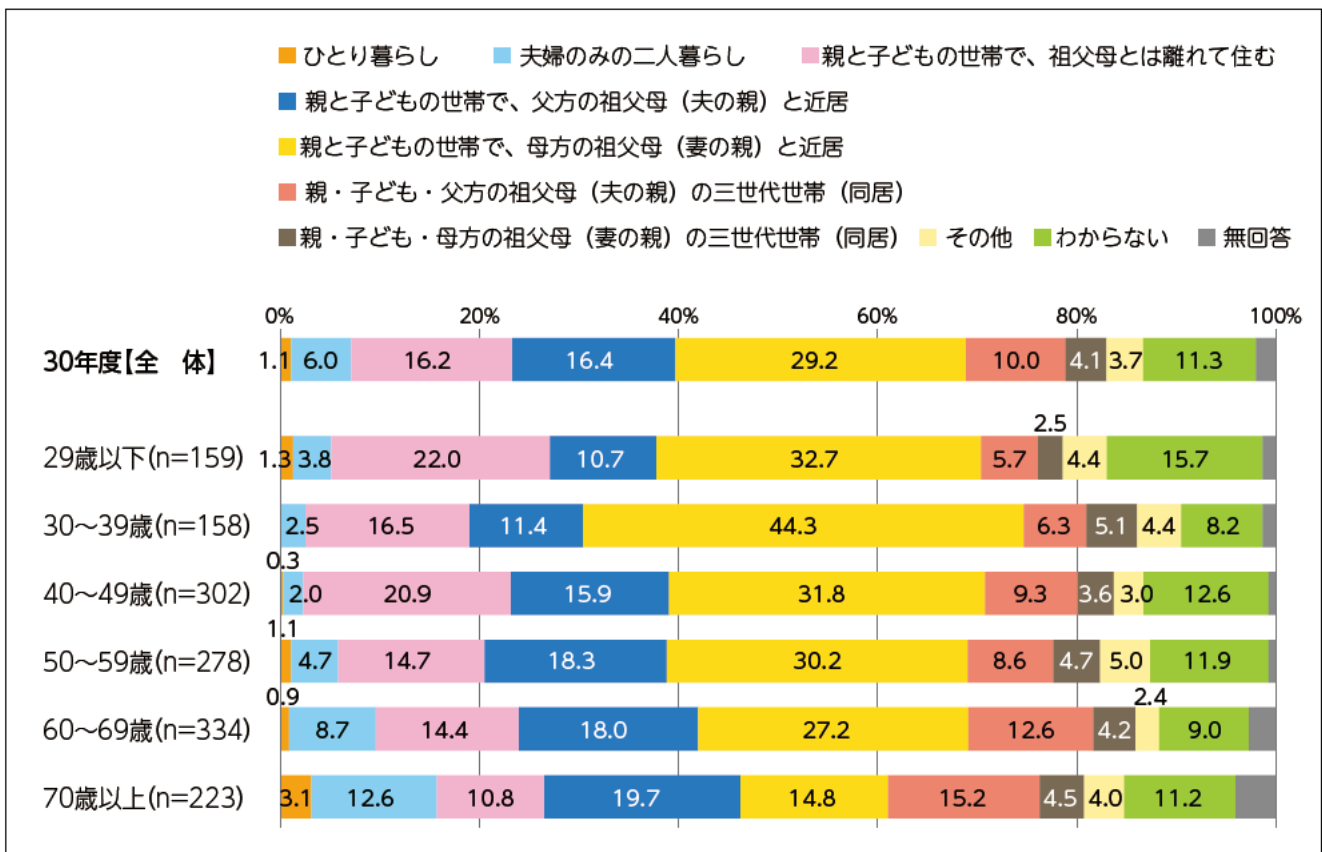
●理想の家族の住まい方について、「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が最も高い。

理想の家族の住まい方について、「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が29.2%と最も高く、次いで「親と子どもの世帯で、父方の祖父母（夫の親）と近居」が16.4%、「親と子どもの世帯で、祖父母とは離れて住む」が16.2%となっています。

年代別でみると、30～39歳で「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」が44.3%で、ほかの年代より10ポイント以上高くなっています。

年代が高くなるほど「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」や「親と子どもの世帯で、祖父母とは離れて住む」の割合は低くなる傾向にあり、一方で「親と子どもの世帯で、父方の祖父母（夫の親）と近居」や「親・子ども・父方の祖父母（夫の親）の三世代世帯（同居）」の割合が高くなる傾向にあります。

■ 図 5-11 あなたにとって、理想の家族の住まい方とはどのようなものですか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」